

平成 24 年度地域自主戦略交付金に係る成果目標(地方公共団体名: **長野県**)

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
1	長野県中期総合計画「第3章 交通安全対策の推進H19～H24」 ・年間死亡事故死者数100人以下 ・年間交通事故件数11,000件以下 ※交通安全施設整備事業（補助金事業の安全対策・防災機能の強化事業及び社会資本整備総合交付金事業・県単事業）との一体目標	H24	—	交通安全施設整備に関する事業	長野県中期総合計画
2	飯田工業・飯田長姫統合校（飯田OIDE長姫高校（仮称））のものづくり科・機械科棟、電気科棟及び施工実習棟の施設整備を行い、県下初の総合技術高校を開校する。	H25	—	学校施設環境改善に関する事業	第1期長野県高等学校再編計画
3	北佐久農業高校、臼田高校及び岩村田高校工業科を再編統合し、臼田高校の校地を利用して総合的な学びを行う学科を設置する。	H25	—	学校施設環境改善に関する事業	第1期長野県高等学校再編計画
4	須坂園芸高校及び須坂商業高校を再編統合し、須坂園芸高校の校地に工業科の施設整備を行い、工業科の募集を開始する。	H27	—	学校施設環境改善に関する事業	第1期長野県高等学校再編計画
5	県有施設耐震化整備プログラムに基づき、応急教育施設で耐震性の無い蘇南高校について、校舎の耐震化を進める。	H26	—	学校施設環境改善に関する事業	長野県耐震改修促進計画 県有施設耐震化整備プログラム
6	障害者支援施設「幸泉園」（S54年築）の大規模修繕（耐震補強、居室、トイレ、厨房等の改修）に要する費用の一部に対して補助し、施設入所者の福祉の向上を図る。	H24	—	社会福祉施設等施設整備に関する事業	長野県障害者プラン2012
7	障害福祉サービス事業所「さんらいずホール」の創設（特別養護老人ホーム「ちいさがたの家」（S61年築）として利用している建物を改修し、障害福祉サービス事業所へ転換）に要する費用の一部に対して補助し、障害者の日中活動の場の確保を図る。	H24	—	社会福祉施設等施設整備に関する事業	長野県障害者プラン2012

8	<p>「長野県食と農業農村振興計画」に基づき、元気な信州農業の実現に向け、持続的な農業生産と農村地域の利便性や快適性の向上を図るため、次の3つの目標を基本とし、農業生産基盤と生活環境の整備を総合的に推進する。</p> <p>①農産物の安定生産に向けた基盤づくり ②住み良い農村づくり ③災害に強い農村づくり</p> <p>目標 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹的農業用排水路における機能保全計画策定施設の割合を増加させる。【12% (H21) ⇒ 約25% (H24)】 ・基幹的な農業水利施設、畑地かんがい施設等の更新整備により、機能の維持又は向上が図られ、農業用水の安定供給や排水機能が確保される農用地を増加させる。【47,900ha (H21) ⇒ 約49,300ha (H24)】 ・農道の補修等が必要となっている農用地のうち、補修等により、通作及び農産物輸送条件の維持又は向上が図られる農用地を増加させる。【2,100ha (H21) ⇒ 約8,100ha (H24)】 <p>目標 ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水施設における最適整備構想策定処理区の割合を増加させる。【0% (H21) ⇒ 約10% (H24)】 ・農業集落排水施設の機能強化により、生活環境が維持又は改善される対象人口の割合を増加させる。【13% (H21) ⇒ 約14% (H24)】 ・小水力発電等の発電施設の調査研究、設計や整備を行い、再生可能エネルギー活用の普及拡大を図る。【6地区 (H21) ⇒ 10地区 (H24)】 <p>目標 ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地防災対策により、湛水被害等のおそれのある農用地の延べ面積を減少させる。【7,600ha (H21) ⇒ 約6,000ha (H24)】 	H24	—	農山漁村地域整備に関する事業	<p>農山漁村地域自主戦略整備計画</p> <p>【計画の名称】 「食と農が織りなす 元気な信州農業」の実現に向けた基盤整備計画</p> <p>http://www.pref.nagano.lg.jp/nousei/nochi/kofukin/kofukin.htm</p> <p><前年度からの変更内容> ①目標2の「最適整備構想策定処理区の目標値」約7% → 約10% ② " " 「小水力発電目標値」の追加</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐等の森林整備が行われた森林を、計画期間中（H22年度からH26年度）で119,400ha増加させる。 ・森林整備及び路網整備の推進により、素材生産量を305千m³/年（基準年：H21年度）を328千m³/年（目標：H26年度）に増加させる。 	H26	—	<p>農山漁村地域整備に関する事業</p> <p>森林整備・林業等振興整備に関する事業</p>	<p>農山漁村地域自主戦略整備計画</p> <p>【計画の名称】 長野県みんなで支えるふるさとの森林づくり整備計画</p> <p>http://www.pref.nagano.lg.jp/rinmu/shinrin/08zourin/koufukin/page1.htm</p>

10	山地災害の発生の危険性が高い森林において、森林の防災効果と水源かん養機能を高めるための治山施設整備及び森林整備（2,500ha）を実施することにより、100集落の保全を図る。	H26	H24	農山漁村地域整備に関する事業	農山漁村地域自主戦略整備計画 【計画の名称】 長野県安心安全な暮らしと水環境を保全する災害に強い森林づくり計画 http://www.pref.nagano.lg.jp/rinmu/shinrin/06chisan/04_koufukin/page1.htm
11	・農業を営むことにより定住を促進し、地区の人口減少率を抑制するため、農業用水路や農道などの農業基盤の機能が確保された農地を増加させる。 【0ha（H23）⇒553.0ha（H28）】 ・農村地域の活性化のため、太陽光発電施設の建設・運営を通じて、再生可能エネルギー活用の普及拡大を図る。【0地区（H23）⇒2地区（H28）】	H28	H26	農山漁村活性化対策整備に関する事業	長野県基盤整備地区活性化計画 【H24年度、H23年度、H21年度、H20年度（1）、H20年度（2）版】 http://www.pref.nagano.lg.jp/nousei/nochi/kaseika/k_index.htm
12	基盤整備（作業道）により、計画区域から生産される間伐材量を、計画期間内（H23～26年度）に425.9%増加させる（H19～22年度実績525m ³ に対する）。	H26	—	農山漁村活性化対策整備に関する事業	農山漁村活性化対策整備計画 【計画の名称】 平谷村活性化計画
13	基盤整備（作業道）により、計画区域から生産される間伐材量を、計画期間内及び事業実施後5年間（H23～27年度；事業はH23～24年度）に27.82%増加させる（H18～22年度実績2,189m ³ に対する）。	H27	—	農山漁村活性化対策整備に関する事業	農山漁村活性化対策整備計画 【計画の名称】 木曾町活性化計画
14	県産材の製材・加工・流通にかかわる施設整備を行うことにより安定供給体制の確立、加工体制の合理化、品質・性能の向上等を図り、県産材の製材品出荷量120千m ³ /年（基準年：H21年度）を150千m ³ /年（目標：H27年度）に増加させる。	H27	—	森林整備・林業等振興整備に関する事業	長野県森林づくりアクションプラン http://www.pref.nagano.lg.jp/rinmu/rinsei/02jyourei/action/APhonbun.pdf
15	災害に強い交通ネットワークの確保により安全で快適な道路環境整備等を推進する。 「道路利用者の安心度の向上」 対象ルート上で安全に通行できる延長の割合。改善必要ルートの全延長とそのうちの対策完了により通行車両が安全に通行できる延長より算出。 【（H21）0% ⇒（H25末）100%】	H25	—	社会資本整備に関する事業	社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）「安全・安心・快適な交通を確保する道路整備等の推進」

16	<p>児童・生徒が利用する歩道等の道路整備と併せて交通安全を向上させる環境整備・施策を実施し、安全歩行空間を創出する。 「通学路等の安全空間確保の向上」 対象ルート上で安全に通行できる延長の割合。改善必要ルートの全延長とそのうちの対策完了により安全に通行できる延長より算出。 【(H21) 0% ⇒ (H25末) 100%】</p>	H25	—	社会資本整備に関する事業	社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）「道路整備や交通安全環境の整備による児童・生徒等の安全歩行空間確保」
17	<p>長野県の豊かな自然・歴史・文化などの資源を活かした地域間の交流を担うため道路整備を推進し、訪れやすい環境整備、道路交通の安全性の向上により誘客を促進する。 「地域間交流ルートの移動時間短縮」 地域間を連絡する道路の総時間短縮。現地走行調査及び道路交通センサスデータにより算出。 【(H21) 0時間・台/日 ⇒ (H25末) 1,100時間・台/日】</p>	H25	—	社会資本整備に関する事業	社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）「長野県の豊かな自然と文化を活かした地域間連携の強化と広域観光の推進」
18	<p>◇目標 急峻な地形と脆弱な地質の当県において、急激な都市化や地球温暖化によるゲリラ豪雨など、近年の自然災害の現状を踏まえ、県民が安全で安心して暮らせるように、ハード・ソフト及び維持管理が一体となった総合的な減災対策の推進を行う。</p> <p>◇定量的指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の氾濫により浸水被害を受ける恐れのある区域の面積を159ha解消する。【570ha (H22) ⇒ 411ha (H26)】 ・老朽化の著しいダム施設の故障発生件数を低減する。 【過去5年平均重・中故障発生件数38回/年 (H22) ⇒ 15回/年 (H26)】 ・貯留浸透施設を設置し安全度を強化する。 【0箇所 (H22) ⇒ 5箇所 (H26)】 ・水位、雨量等の防災情報を統一し、地上デジタルデータ放送等を活用したシステムを構築し情報提供強化を図る。 ・近年浸水被害発生河川に水位局、雨量局、監視カメラ等を設置し監視体制および情報提供の強化を図る。 【近年浸水被害発生河川（9河川）における監視体制の強化。上記河川のうち、水位局2河川 (H22) ⇒ 9河川 (H26)、雨量局3河川 (H22) ⇒ 5河川 (H26)、監視カメラ0河川 (H22) ⇒ 8河川 (H26)】 	H26	—	社会資本整備に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）「ハードとソフトが一体となった総合的な減災対策の推進（河川・ダム）」 ・社会資本総合整備計画（地域住宅支援）「市街地浸水を解消し、安全・安心な地域づくりを支援する河川整備」 <p><前年度からの変更点> 社会資本整備総合交付金の対象事業の一部が地域自主戦略交付金へ移行したことに伴う定量的指標の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の氾濫により浸水被害を受ける恐れのある区域の面積 123ha→159ha 492ha→570ha (H22) 369ha→411ha (H26)

19	<p>◇目標 諏訪湖の環境を整備することで、市民の憩いの場、レクリエーションの場、自然や景観を楽しむ場、湖周の芸術・文化・スポーツ・温泉といった観光資源を結ぶ場として、湖を中心とした都市の発展に寄与する。</p> <p>◇定量的指標 ・諏訪湖の水質浄化事業において、湖沼水質特別措置法に基づき、長野県で策定する「第6期（H24～H28予定）諏訪湖水質保全計画」に掲げる目標水質基準を満足する浄化対策工法を位置付ける。 【河川管理者が行う浄化対策 0件（H22）⇒1件（H24）】</p>	H26	—	社会資本整備に関する事業	社会資本総合整備計画（市街地整備）「諏訪湖環境整備事業」
20	<p>地質が脆弱で、地形が急峻な県内全域において土砂災害から県民の生命・財産を守り、安全で安心な災害に強い県土づくりのため、砂防堰堤設置などのハード対策と土砂災害警戒区域の指定などのソフト対策が一体となった効果的な土砂災害対策の推進を行う。</p> <p>・土砂災害から保全される人家戸数 【（H21末）48,968戸⇒（H24末）50,200戸】</p> <p>・土石流危険渓流の砂防施設整備率 【（H21末）20.1%⇒（H24末）20.6%】</p> <p>・土砂災害警戒区域か所の指定箇所 【（H21末）13,171箇所⇒（H24末）21,440箇所】</p>	H24	—	社会資本整備に関する事業	社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）「ハードとソフトが一体となった総合的な減災対策の推進」
21	<p>交通ネットワーク整備により都市の骨格軸を形成し、中心部においては機能的でにぎわいのある市街地を形成する。</p> <p>・道路の総時間短縮【（H21）0分・台／日 ⇒（H25末）6,000分・台／日】</p> <p>・歩行者数 平均【（H21）644人／12h⇒（H25末）670人／12h】</p>	H25	H23	社会資本整備に関する事業	社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）「誰もが快適で暮らしやすいまちづくりの推進」
22	<p>汚水処理人口普及率の向上 【91.5%（H18） ⇒ 96.6%（H24）】</p>	H24	—	社会資本整備に関する事業	社会資本総合整備計画 長野県中期総合計画
23	<p>県都市公園における公園施設の長寿命化計画策定完了公園数 【（H22）0箇所 ⇒（H25末）7箇所】</p>	H25	—	社会資本整備に関する事業	社会資本総合整備計画（市街地整備）「長野県都市公園リニューアル事業」

24	<ul style="list-style-type: none"> ・処分制限期間を超えている、又は、危険度判定調査等で改善が必要とされた公園施設の改築・更新を行い、公園利用者の安全・安心を確保する。 ・公園施設のバリアフリー化を行い、誰もが安全で使いやすい県都市公園を目指す。 	H25	—	社会資本整備に関する事業	長野県都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業計画
25	<p>安全でやさしい住まいづくり ライフスタイルに対応できる住まいづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅のバリアフリー化率 【(H22末) 15.1%⇒(H27末) 18.3%】 	H27	H25	社会資本整備に関する事業	地域住宅計画
26	<p>公営住宅の水洗化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県営住宅のうち水洗化されている住宅の割合 【(H22末) 92.2%⇒(H27末) 100%】 	H27	H25	社会資本整備に関する事業	
27	<p>国定公園内の10施設の整備を進めることにより、利用者の利便性・安全性等を向上させるとともに国定公園の自然環境保全を推進させることを目標とする。</p>	H26	—	自然環境整備に関する事業	自然環境整備計画
28	<p>中部北陸自然歩道の3路線の施設整備を進めることにより、利用者の利便性等を向上させることを目標とする。</p>	H25	—	自然環境整備に関する事業	自然環境整備計画
29	<p>中部北陸自然歩道の道標を11基整備する。</p>	H26	—	自然環境整備に関する事業	自然環境整備計画